

# 安倍暴走政治ストップ！

## 野党は共闘！

# 3区市民連合

## ニュース NO.5 18.10.1

発行：安倍暴走政治ストップ！野党は共闘！広島3区市民連合  
代表幹事 山田延廣  
事務局：広島市安佐北区あさひが丘 2-2-9 鈴木 孝良  
電話・FAX:082-838-0815 携帯:090-7896-8991

# 3区市民連合1周年総会 108人参加

## 1000人の会員に 市民と野党の共闘で政治を変えよう！

3区市民連合は9月24日、創立1周年の総会を広島市安佐区民文化センターで開き、会員を1000人に増やし次の総選挙では必ず勝利しようと、本格的な野党共闘実現をめざす方針を採択しました。安佐南区、安佐北区だけでなく稲刈りで繁忙期の安芸太田、北広島、安芸高田など3区全域から、また3区だけでなく2区など県下から参加者があり会場いっぱいの108人の参加者で、期待の高さがあらわれた総会になりました。

来賓として立憲野党の4党代表、国民民主党の森本真治参院議員と鷹広純県議、昨年の衆院広島3区の野党統一候補・塩村あやか氏、社民党の山内まさあき市議、新社会党県本部の齋尾和望書記長、日本共産党の高見あつみ参院広島選挙区候補と藤井とし子市議が紹介され、連帯のあいさつ。

## 3000万署名で安倍改憲NO!

代表幹事の山田延廣弁護士が「今の政治、私たちの生活、野党は統一を」と題して記念講演。安倍政権による解散総選挙、野党共闘を分断する希望の党への民主党の合流など困難ななかでの活動だったが、「私たちの運動は間違いなかった。議席獲得には至らなかったが大きな役割を果たした」と評価。安倍首相は秋の臨時国会で憲法改正案を提出しようとする執念を持っている。嘘とごまかし、居直り、こんな政権のもとでの改憲は許せない。改憲を発議させていない、3000万署名の運動が大きな力になっている。世論調査でも発議に反対が多数だ。来年

7月の参院選と春の一斉地方選挙で勝つこと、参院選では3分の1以上で発議をさせないことだ。安倍政権の打倒に向け「何としても野党共闘が必要。全県下で市民連合をつくる運動を広げよう」と呼びかけました。

続いて鈴木事務局長が活動報告と方針を以下のように提案しました。

昨年9月の市民連合結成直後、突然の衆議院解散に直面し、3区野党統一候補実現に全力をあげた。その際市民連合がかかげた①立憲主義回復②核兵器禁止条約批准③社会保障充実④働き方の改善⑤自営業者、農漁民の営業を守るの5項目の政策要求が大きな力になった。野党共闘こそ憲法破壊の安倍政権を倒す確かな展望を開く力だ。選挙に勝つ力をつけるためにも会員増が不可欠、この一年で1000人の会員をめざす。そのためにも地域で多様な人々との結びつきを強め、出会い、つながり、相互尊重の関係をさらに広げよう。

質疑・討論は10人以上が発言するなど活発に行われました。「農繁期で活動できていないが、会員の拡大に気持ちを新たに進めたい」「目に見え、聞こえる活動を」など決意・意見表明がありました。3区以外の2区などから「市民連合をつくりたい。どのように工夫したのか」の積極的な質問も出ました。



# 会員1000人をめざそう!



若者・年配者のつながり  
考え方に違いがある者がつながる  
それが市民連合  
「平和と暮らし」の要求を主張し行動する  
それが市民連合  
現在の政権に対し、対抗軸としての野党共闘をよびかける  
それが市民連合

総会お疲れさまでした。若い人にどう参加してもらおうのかが課題です。ぜひ「コスタリカの奇跡」上映会を各地でやってはどうでしょうか。(F・Tさん)

## 総会でのご意見

私は西区に住んでおり、西区革新懇・西区ネットで憲法と平和を守る活動を微力ながら取り組んでいます。西区を含む2区での市民連合の結成についても、かけ声はかけていますが、なかなか具体的にはすすんでいません。本格的にスイッチを入れるためにも学習のため参加しました。

若者の意識について投票率が低い中で相対的に自民党などの支持率が高い事をどう分析するのか、どう野党への支持に動かすのかについて思いがあります。自民党の総裁選のときにも東京の学生がインタビューで、「学生の就職率がよくなったから」という事で安倍を支持しているようなコメントを述べていましたが、「存在が意識を決定する」といえばそれまでですが、山田弁護士も言われたように、若者の考えに「現状追認主義」(冷笑主義=シニシズム)があることも一面だと思います。また、少し前のことですが、「報道ステーション」のコメンテーターが、「今の若者は、教育の場で、人を批判すること(ディベートなど)を経験していなくて、付度することを教えられてきている」という事を言っていました。野党が政権を批判すること事態をきらう傾向もあると言いますが、私たちが街頭で話すときも批判一本にならず、説得的、希望を与える内容を入れてゆくようにすることが重要だと思っています。(Y・Sさん)



④挨拶をする国民民主党の森本真治参院議員  
⑤会場いっぱいの総会参加者

